反対の意味の慣用句プリント①

反対の慣用句を選んで、何についての反対かも答えよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

反対の意味とは、同じことについて、向きが反対になっている意味のことです。

①問の枠の慣用句と反対の意味のものを、下のア～エから一つ選び、①のわくに記号を書きましょう。

②つぎに、問の慣用句と①で選んだ慣用句が何についての反対かを、あ～う（～かどうか）から一つ選び、②のわくに記号を書きましょう。

れい **目を向ける** ⇔ **背を向ける** **何についての反対？ → 関心をもつかどうか**

目を向ける＝関心をもって、注意をはらう　　背を向ける＝関心を示さなくなり、協力をやめる

問1 **胸に秘める** ＝心の中にしまって、人に言わない　① ［　］　② ［　］

ア 口を閉ざす 何も言わないようにする	**イ 胸を打つ** 感動して心がゆさぶられる
ウ 腹を割る かくさず気持ちを打ち明ける	**エ 足を運ぶ** わざわざその場所へ行く

② 何についての反対かな？

あ うれしい気持ちになるかどうか	**い** 気持ちを打ち明けるかどうか	**う** 大きな声で話すかどうか

問2 **耳を傾ける** ＝相手の話を熱心に聞こうとする　① ［　］　② ［　］

ア 耳をふさぐ 聞きたくなくて、こばむ	**イ 耳を貸す** 親身になって聞く
ウ 耳に残る いつまでも心に残る	**エ 腕を磨く** 技術を高める努力をする

② 何についての反対かな？

あ 耳がよく聞こえるかどうか	**い** いそがしくしているかどうか	**う** 話を聞こうとするかどうか

問3 **腰が重い** ＝なかなか行動に取りかかろうとしない　① ［　］　② ［　］

ア 気が重い ゆううつで気が進まない	**イ 腰が低い** 謙虚で丁寧な態度
ウ 歯が立たない 相手が強くてかなわない	**エ 尻が軽い** 誘われるとすぐ動く

② 何についての反対かな？

あ すぐに動き出すかどうか	**い** 体がとても重いかどうか	**う** 気が強いかどうか

問4 **手綱を引く** ＝厳しく管理して、勢いをおさえる　① ［　］　② ［　］

ア 目を光らせる 厳しく見張る	**イ 手を打つ** 解決の対策を立てる
ウ 肝を冷やす 危険にひやりとする	**エ 手綱を緩める** 少し自由にさせる

② 何についての反対かな？

あ きびしく管理するかどうか	**い** 馬にじょうずに乗るかどうか	**う** なかよくしているかどうか

問5 **気を抜く** ＝緊張をゆるめて油断する　① ［　］　② ［　］

ア 気を許す 警戒する気持ちをなくす	**イ 気を張る** 緊張して引きしめる
ウ 気が合う 考え方や好みが同じで仲良く	**エ 首を長くする** 期待して待ちわびる

② 何についての反対かな？

あ 気分がとてもよいかどうか	**い** ずっとおこっているかどうか	**う** 気持ちを引きしめるかどうか

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

反対の意味の慣用句プリント②

意味を思い出して、反対の慣用句を選ぼう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

反対の意味とは、同じことについて、向きが反対になっている意味のことです。

①問の枠の慣用句と反対の意味のものを、下のア～エから一つ選び、①のわくに記号を書きましょう。

ア～エの慣用句には、意味が書いてありません。自分で思い出しましょう。思い出せないときは、②を先に考えてもよいです。

②問の慣用句と①で選んだ慣用句が何についての反対かを、あ～う（～かどうか）から一つ選び、②のわくに記号を書きましょう。

れい 目を向ける ⇔ 背を向ける　何についての反対？ → 関心をもつかどうか

目を向ける＝関心をもって、注意をはらう　　背を向ける＝関心を示さなくなり、協力をやめる

問1 腹に据えかねる ＝いかりをおさえられず、がまんできなくなる　① ＿　② ＿

ア 歯ぎしりする	イ 溜飲を下げる
ウ 堂に入る	エ 気を落とす

② 何についての反対かな？

あ おなかがすいているかどうか	い 長い道を歩きつづけるかどうか	う 怒りや不満がおさまるかどうか

問2 心を奪われる ＝あるものに強くひきつけられて、夢中になる　① ＿　② ＿

ア 琴線に触れる	イ 筆が立つ
ウ 熱を上げる	エ 砂をかむよう

② 何についての反対かな？

あ おもしろさを感じるかどうか	い 心がやさしいかどうか	う 大切なものをうばい合うかどうか

問3 見切り発車 ＝しっかり準備しないまま、はじめてしまう　① ＿　② ＿

ア 胸算用	イ 見得を切る
ウ 一か八か	エ 首が飛ぶ

② 何についての反対かな？

あ いそいで走るかどうか	い 先を考えてから動くかどうか	う 発車の電車に乗りこむかどうか

問4 袋小路に入る ＝行きづまって、それいじょうすすまなくなる　① ＿　② ＿

ア 音に聞こえる	イ 切羽詰まる
ウ 芽が出る	エ 気を回す

② 何についての反対かな？

あ とても遠い場所かどうか	い お金が足りているかどうか	う 先が開けそうかどうか

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

反対の意味の慣用句プリント③

使う言葉を手がかりに、反対の慣用句を書こう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

反対の意味とは、同じことについて、向きが反対になっている意味のことです。

①問の枠の慣用句と反対の意味の慣用句を、その問の「つかうことば」をそのまま入れて、「反対の意味の慣用句を書こう」の右のわくの中に書きましょう。ひらがなで書いてもよいです。

②何についての反対かは、各問の「何についての反対？」に書いてあります。これを手がかりに、向きをぎゃくにした慣用句を考えましょう。

れい **腰が重い** ＝なかなか行動に取りかかろうとしない

何についての反対？ → すぐに動き出すかどうか

つかうことば **尻** → **尻が軽い** ＝さそわれるとすぐに動く

問1 **甲乙つけがたい** ＝どちらもすぐれていて、よしあしが決められない

何についての反対？ → ちがいがはっきりしているかどうか

つかうことば **一線**

反対の意味の慣用句を書こう ＿＿＿＿＿＿

問2 **言葉を濁す** ＝はっきり言わないで、あいまいにごまかす

何についての反対？ → かくさずにはっきり話すかどうか

つかうことば **胸襟**

反対の意味の慣用句を書こう ＿＿＿＿＿＿

問3 **顰蹙を買う** ＝したことで、まわりの人にいやがられたり、見くだされたりする

何についての反対？ → まわりからの見られ方がよくなるかどうか

つかうことば **面目**

反対の意味の慣用句を書こう ＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

反対の意味の慣用句プリント④

2つの慣用句の関係を見分けよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

反対の意味とは、同じことについて、向きが反対になっている意味のことです。

①問ごとに、枠の中の2つの慣用句の関係を、下のア～ウから一つ選び、①のわくに記号を書きましょう。

②つぎに、①でア・イを選んだ問題だけ、2つが何についての話かを、その問の「つかうことば」を入れて「～かどうか」の形で右のわくに書きましょう。上の「れい」のとおりに書きます。ウの問題は、②を書きません。

れい **手綱を引く** と **手綱を緩める**

手綱を引く＝厳しく管理して、勢いをおさえる　　手綱を緩める＝少し自由にさせる

① ア 反対の意味

② 何についての話？ → きびしく管理するかどうか （つかうことば：管理）

問1 **骨身を惜しまず** と **身を粉にする**

＝つかれや苦労を気にせず、ひたすら働く　　＝ある物事のために、苦労をいやがらずけんめいに働く

① ［　］ ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば **働く** →

問2 **気骨がある** と **顰みに倣う**

＝自分の考えを曲げない、強い心がある　　＝よいか悪いかを考えず、人のまねをする

① ［　］ ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば **考え** →

問3 **血が騒ぐ** と **血も涙もない**

＝わくわくして、じっとしていられない　　＝思いやりがまったくなく、つめたい

① ［　］ ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば **わくわく** →

問4 **気に留める** と **心に刻む**

＝気をつけて、心にとどめておく　　＝わすれないように、心に深くきざむ

① ［　］ ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば **心** →

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

反対の意味の慣用句プリント①【こたえ】

反対の慣用句を選んで、何についての反対かも答えよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

反対の意味とは、同じことについて、向きが反対になっている意味のことです。

①問の枠の慣用句と反対の意味のものを、下のア～エから一つ選び、①のわくに記号を書きましょう。

②つぎに、問の慣用句と①で選んだ慣用句が何についての反対かを、あ～う（～かどうか）から一つ選び、②のわくに記号を書きましょう。

れい **目を向ける** ⇔ **背を向ける**　**何についての反対？ → 関心をもつかどうか**

目を向ける＝関心をもって、注意をはらう　　背を向ける＝関心を示さなくなり、協力をやめる

問1 胸に秘める ＝心の中にしまって、人に言わない

① ウ　② い

- ア **口を閉ざす** 何も言わないようにする
- イ **胸を打つ** 感動して心がゆさぶられる
- **ウ 腹を割る** かくさず気持ちを打ち明ける
- エ **足を運ぶ** わざわざその場所へ行く

② **何についての反対かな？** 「言わない」と「打ち明ける」は、向きが反対

- あ うれしい気持ちになるかどうか
- **い 気持ちを打ち明けるかどうか**
- う 大きな声で話すかどうか

問2 耳を傾ける ＝相手の話を熱心に聞こうとする

① ア　② う

- **ア 耳をふさぐ** 聞きたくなくて、こばむ
- イ **耳を貸す** 親身になって聞く
- ウ **耳に残る** いつまでも心に残る
- エ **腕を磨く** 技術を高める努力をする

② **何についての反対かな？** 「聞こうとする」と「聞くのをこばむ」が反対

- あ 耳がよく聞こえるかどうか
- い いそがしくしているかどうか
- **う 話を聞こうとするかどうか**

問3 腰が重い ＝なかなか行動に取りかかろうとしない

① エ　② あ

- ア **気が重い** ゆううつで気が進まない
- イ **腰が低い** 謙虚で丁寧な態度
- ウ **歯が立たない** 相手が強くてかなわない
- **エ 尻が軽い** 誘われるとすぐ動く

② **何についての反対かな？** 「動かない」と「すぐ動く」が反対の向き

- **あ すぐに動き出すかどうか**
- い 体がとても重いかどうか
- う 気が強いかどうか

問4 手綱を引く ＝厳しく管理して、勢いをおさえる

① エ　② あ

- ア **目を光らせる** 厳しく見張る
- イ **手を打つ** 解決の対策を立てる
- ウ **肝を冷やす** 危険にひやりとする
- **エ 手綱を緩める** 少し自由にさせる

② **何についての反対かな？** 「きびしい」と「少し自由」が反対の向き

- **あ きびしく管理するかどうか**
- い 馬にじょうずに乗るかどうか
- う なかよくしているかどうか

問5 気を抜く ＝緊張をゆるめて油断する

① イ　② う

- ア **気を許す** 警戒する気持ちをなくす
- **イ 気を張る** 緊張して引きしめる
- ウ **気が合う** 考え方や好みが同じで仲良く
- エ **首を長くする** 期待して待ちわびる

② **何についての反対かな？** 「引きしめる」と「ゆるめる」が反対の向き

- あ 気分がとてもよいかどうか
- い ずっとおこっているかどうか
- **う 気持ちを引きしめるかどうか**

反対の意味の慣用句プリント②【こたえ】

意味を思い出して、反対の慣用句を選ぼう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

反対の意味とは、同じことについて、向きが反対になっている意味のことです。

①問の枠の慣用句と反対の意味のものを、下のア～エから一つ選び、①のわくに記号を書きましょう。

ア～エの慣用句には、意味が書いてありません。自分で思い出しましょう。思い出せないときは、②を先に考えてもよいです。

②問の慣用句と①で選んだ慣用句が何についての反対かを、あ～う（～かどうか）から一つ選び、②のわくに記号を書きましょう。

れい **目を向ける** ⇔ **背を向ける** **何についての反対？ → 関心をもつかどうか**

目を向ける＝関心をもって、注意をはらう　　背を向ける＝関心を示さなくなり、協力をやめる

問1 腹に据えかねる ＝いかりをおさえられず、がまんできなくなる　① イ　② う

ア 歯ぎしりする	くやしがったり、はげしくおこったりする	**イ 溜飲を下げる**	**不満がなくなって、すっきりした気分になる**
ウ 堂に入る	ぎじゅつなどが上達して、すぐれている	エ 気を落とす	思いどおりにならず、がっかりして元気をなくす

② 何についての反対かな？　「がまんできない」と「すっきりする」が反対

あ おなかがすいているかどうか　　い 長い道を歩きつづけるかどうか　　**う 怒りや不満がおさまるかどうか**

問2 心を奪われる ＝あるものに強くひきつけられて、夢中になる　① エ　② あ

ア 琴線に触れる	すばらしいものに出会って、心がゆさぶられる	イ 筆が立つ	文章を書くのがうまい
ウ 熱を上げる	ある物事に夢中になって、のめりこむ	**エ 砂をかむよう**	**味わいやおもしろさが、まったく感じられない**

② 何についての反対かな？　「ひきつけられる」と「おもしろみがない」が反対

あ おもしろさを感じるかどうか　　い 心がやさしいかどうか　　う 大切なものをうばい合うかどうか

問3 見切り発車 ＝しっかり準備しないまま、はじめてしまう　① ア　② い

ア 胸算用	**心の中で、お金やこれからの見通しを計算する**	イ 見得を切る	気持ちが高まったとき、動きを止めてポーズをとる
ウ 一か八か	どうなるか分からないまま、運にまかせてやってみる	エ 首が飛ぶ	しごとをやめさせられる

② 何についての反対かな？　「考えずに始める」と「見通しを立てる」が反対

あ いそいで走るかどうか　　**い 先を考えてから動くかどうか**　　う 発車の電車に乗りこむかどうか

問4 袋小路に入る ＝行きづまって、それいじょうすすまなくなる　① ウ　② う

ア 音に聞こえる	よい評判が、広く知れわたっている	イ 切羽詰まる	せまってきて、どうしても逃げ場がなくなる
ウ 芽が出る	**才能が認められて、うまくいきそうなようすが見える**	エ 気を回す	あれこれ考えて、よけいなことまで心配する

② 何についての反対かな？　「行きづまる」と「うまくいきそう」が反対

あ とても遠い場所かどうか　　い お金が足りているかどうか　　**う 先が開けそうかどうか**

反対の意味の慣用句プリント③【こたえ】

使う言葉を手がかりに、反対の慣用句を書こう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

反対の意味とは、同じことについて、向きが反対になっている意味のことです。

①問の枠の慣用句と反対の意味の慣用句を、その問の「つかうことば」をそのまま入れて、「反対の意味の慣用句を書こう」の右のわくの中に書きましょう。ひらがなで書いてもよいです。

②何についての反対かは、各問の「何についての反対？」に書いてあります。これを手がかりに、向きをぎゃくにした慣用句を考えましょう。

れい 腰が重い ＝なかなか行動に取りかかろうとしない

何についての反対？ → すぐに動き出すかどうか

つかうことば 尻 → 尻が軽い ＝さそわれるとすぐに動く

問1 甲乙つけがたい ＝どちらもすぐれていて、よしあしが決められない

何についての反対？ → ちがいがはっきりしているかどうか

つかうことば 一線

反対の意味の慣用句を書こう 一線を画す

「差がつけられない」と「はっきり区切る」が反対

丸つけ：□「一線」が入っている　□意味が反対　『いっせんをかくす』とひらがなで書いても○。
別解：『一線を引く』も○（意味は同じ）。『一線を越える』は意味が反対にならないので×。

問2 言葉を濁す ＝はっきり言わないで、あいまいにごまかす

何についての反対？ → かくさずにはっきり話すかどうか

つかうことば 胸襟

反対の意味の慣用句を書こう 胸襟を開く

「ごまかす」と「かくさず打ち明ける」が反対

丸つけ：□「胸襟」が入っている　□意味が反対　『きょうきんをひらく』とひらがなで書いても○。
別解：『胸襟を開いて』のように形が変わっても○。『心を開く』は「胸襟」が入っていないので×。

問3 顰蹙を買う ＝したことで、まわりの人にいやがられたり、見くだされたりする

何についての反対？ → まわりからの見られ方がよくなるかどうか

つかうことば 面目

反対の意味の慣用句を書こう 面目躍如・面目を施す

「いやがられる」と「よい評価を受ける」が反対

丸つけ：□「面目」が入っている　□意味が反対　ひらがなでも○。
『面目を失う』『面目をつぶす』は評価が下がるので×。『面目を保つ』『面目が立つ』は「よくなる」ではないので×。

反対の意味の慣用句プリント④【こたえ】

2つの慣用句の関係を見分けよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

反対の意味とは、同じことについて、向きが反対になっている意味のことです。
①問ごとに、枠の中の2つの慣用句の関係を、下のア～ウから一つ選び、①のわくに記号を書きましょう。
②つぎに、①でア・イを選んだ問題だけ、2つが何についての話かを、その問の「つかうことば」を入れて「～かどうか」の形で右のわくに書きましょう。上の「れい」のとおりに書きます。ウの問題は、②を書きません。

れい 手綱を引く と 手綱を緩める

手綱を引く＝厳しく管理して、勢いをおさえる　　手綱を緩める＝少し自由にさせる

① ア 反対の意味

② 何についての話？ → きびしく管理するかどうか （つかうことば：管理）

問1 骨身を惜しまず と 身を粉にする

＝つかれや苦労を気にせず、ひたすら働く　　＝ある物事のために、苦労をいやがらずけんめいに働く

① イ　ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば 働く → 苦労をいやがらずに働くかどうか

どちらも「苦労をいやがらず働く」で、向きが同じ

問2 気骨がある と 顰みに倣う

＝自分の考えを曲げない、強い心がある　　＝よいか悪いかを考えず、人のまねをする

① ア　ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば 考え → 自分の考えをもって動くかどうか

「自分の考えをもつ」と「人のまねをする」で、向きが反対

問3 血が騒ぐ と 血も涙もない

＝わくわくして、じっとしていられない　　＝思いやりがまったくなく、つめたい

① ウ　ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば わくわく → 書かない

「気持ちの高ぶり」と「思いやりのなさ」で話がちがう。同じ字（血）や、熱い・つめたいの感じでも反対ではない

問4 気に留める と 心に刻む

＝気をつけて、心にとどめておく　　＝わすれないように、心に深くきざむ

① イ　ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば 心 → 心にとどめておくかどうか

どちらも「心にとどめる」で、向きが同じ

丸つけ：②の答えは一例。□「つかうことば」が入っている　□「～かどうか」の形　□意味が合っていれば○（ウの問題は②を書かない）